

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	阿島傘リバイバル計画
事業主体 (連絡先)	喬木村 喬木村役場企画財政課 0265-33-5129
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	685,137 円

事業内容

阿島傘は、喬木村に江戸時代から伝わる伝統的な和傘であるが、洋傘の普及により生産が激減し、現在は1軒のみ受注生産で製作販売を行っている状態である。そこで、阿島傘を「いつでも買える」「いつでも体験できる」体制を構築するため、担い手育成や材料供給体制の整備を図る取り組みを行った。また、阿島傘をPRするため、講座受講生等が製作した阿島傘の展示とライトアップを行うイベントを開催した。



【阿島傘の製作に取り組む受講】

【目標・ねらい】

- ①阿島傘の担い手育成
- ②すべての工程技術の習得
- ③材料供給体制の整備
- ④阿島傘のPR

※自己評価【 A 】

【理由】

一番時間を要する担い手育成につながる取り組みが開始できたこと、PRイベントで多くの来場者を得ることができたこと等、実施する側にとっても阿島傘のもつ可能性を感じる事ができたため。

事業効果

- ① 阿島傘講座を実施し、村内外から10名が参加。今後も継続的に阿島傘の職人を目指し、携わり続けてくれる担い手の確保につながった。
- ② 村内ではできない「つなぎ」と「漆掛け」の工程について研修を行い、他県講師から技術を習得することができた。
- ③危機的な状況にある傘骨の確保について、「つなぎ」の技術を習得したことにより、つなぎ前の傘骨も取扱い可能になった。
- ④ 村の文化財である茶室「曙月庵」にて、和の雰囲気を生かした阿島傘の展示イベントを開催したことにより、村内外から多くの来場者を得ることができ、阿島傘のPRにつながった。

今後の取り組み

- ・引き続き阿島傘講座を開催し、受講生が定期的に技術研鑽できる場を設ける。
- ・今回技術習得した「漆掛け」を生かしながら、色紙や柄和紙も多用し、より見栄えのする阿島傘ができるよう研究する。
- ・材料の中で最も危機的な状況にある傘骨の確保について、傘骨製作技術の習得を図るとともに、村内の竹林整備を行い、傘骨に適した竹を育成する。
- ・阿島傘展示イベントについて、内容を少しずつ変えながら毎年定期的で開催し、少しでも多くの人に阿島傘を知ってもらえるようなPR活動を行っていく。